Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.30, April 2023
https://www.inf.shizuoka.ac.jp
April2023
vol.30
静岡大学情報学部

行事報告
Report of events

テクノフェスタ 2022

テクノフェスタ実行委員会　大島 律子

2022年11月12日と13日の２日間に渡り、テクノフェスタが開催されました。コロナ禍の影響で2020年度は全面中止、2021年度はオンライン開催となり、３年ぶりに来場者の方々をキャンパスにお迎えすることができました。感染拡大を回避する目的で事前登録制とし、大きな広報を行わないという状況下での開催ではありましたが、約6000名もの方々がご来場くださいました。

情報学部では、「骨格推定であそぼ」（山本泰生研究室）や「コンピュータによるモデリングで迫る心の謎」（森田研究室）、「フォントに触れるAR シューティングゲーム～FONT QUEST～」（杉山岳弘研究室）などをはじめとし、10件以上の企画が実施されました。2日目の13日はあいにくの雨模様となりましたが、両日を通じて子どもから大人まで数多くの方々が情報学部の研究やその成果に触れ、企画を楽しまれている様子が見られました。企画実施に携わった学生や教員たちも、来場者の方々との直接的なやりとりを通じて自分たちの研究を知っていただくことができ、大変有意義な２日間であったと感じております。

久しぶりの開催ということでいくつか問題点も見つかりましたが、それを踏まえ来年度の開催に向けて準備を進めていく予定です。来年度はより多くの来場者の方々をお迎えできるよう期待しております。

杉山岳弘研究室の交流の様子

情報学部ホームカミングデー 2022

2022 同窓会ワーキンググループ　増澤 智昭、大本 義正、望月 美希

2022年11月13日（日）に情報学部同窓会主催のホームカミングデーを開催しました。新型コロナウィルスの流行を受けて2020年以降の同窓会企画はオンライン企画のみとしていましたが、対面での同窓会開催のご要望をいただき、委員で知恵を絞って２年ぶりに対面での開催が実現しました。

当日は、浜松工業会浜松支部長の望月英二様をはじめ浜松工業会のご来賓と、昨年度に退職された酒井三四郎先生にお越しいただき、情報学部への期待や、情報学部設立初期の貴重なお話をご講演いただきました。また、情報学部１号館改修を記念して、静大TVの皆様にご協力いただいて作成した記念映像を放映しました。社会人15名、学生3名と、学生の参加がやや少なくなりましたが、後半はOBの皆さまと教員・学生を交えて、情報学部の教育・研究のあり方や、地域における静岡大学のあり方など、幅広い内容について親密な意見交換がなされ、対面開催のホームカミングデーの良さを感じることができました。

今年度は同日開催のテクノフェスタも事前登録による入場者制限をするなど、積極的な告知により多くの参加を期待することの難しい状況でしたが、来年以降も対面やハイブリッドでの開催ができるよう、ポストコロナのホームカミングデーのあり方を今後も模索していきたいと思います。最後に、ご参加いただいた皆さま、会の運営に大いにご協力いただきました学生団体PMBOK Clubの皆さまに、厚く御礼申し上げます。

浜松キャンパスは100周年を迎えました

情報学部長　笹原 恵

浜松キャンパスは2022（令和４）年に100周年を迎えました。起点は1922（大正11）年、工学部の前身、旧制の浜松高等工業学校（浜松高工）設置が公布された年です。浜松高工の関口壮吉初代校長が掲げた「自由啓発主義」は、現在も静岡大学の理念「自由啓発・未来創成」に引き継がれています。また同校で教鞭をとった高柳健次郎先生のテレビジョン開発は現在も本学のみならず、日本のレガシーとなっています。

空襲で校舎が焼失したため、浜松工業専門学校（浜松高工が1944年に改称）は、1949（昭和24）年３月に、浜松市広沢から現在の浜松キャンパスに移転しました。そして同年６月には、静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校と統合して現在の静岡大学が発足しました。こうして、工学部から始まった浜松キャンパスには、工業短期大学部(1953)、電子工学研究所(1965)、そして情報学部(1995)が設置されるなど、今日に至るまで、それぞれの歴史を積み重ねてきました。

浜松キャンパス100周年記念事業として、昨年９月24日にはアクトシティ大ホールで記念式典が開催され、吹奏楽団の演奏やノーベル賞受賞者の天野浩教授（名古屋大学）の記念講演が行われました。私も「浜松キャンパス100年の歩み」を振り返りました。100周年記念事業基金では、ノーベル賞級の卓越した研究者の育成や博士課程の学生への支援などを予定しています。浜松キャンパスの次の100年も、在学生や卒業生、教職員が輝くことができるように尽力して参りますので、ますますのご支援をお願いいたします。

笹原学部長：浜松キャンパス100年の歩み

新任教員の抱負

Aspirations of newly appointed faculty

情報化社会を生きる我々を守る法的知識

情報社会学科　伊 夢瑛

はじめまして、2022年10月に着任した伊夢瑛です。出身は東京ですが、高校生の時からカナダ、イギリス、ルクセンブルクなど、計12年間にわたり海外に住んでおりました。研究領域として、個人情報とプライバシー権を法的、政策的な観点から分析しています。周知のとおり、情報技術が発展したことによって、我々はあらゆる面において、利便性や安全性を求める代償に自分の個人情報を企業や政府に提供するようになりました。また、自分自身を守るために、人々は常に法律を遵守しつつ、同時に、法律に頼りながら日常生活を過ごしています。そのため、現代人にとって法律の知識と法律に対する理解を深めること、法的なバランスをもって思考することは非常に重要です。私は主に、「情報と法」などのような法律分野の講義を担当しております。情報学部のみなさんと一緒に、情報社会に生きる我々に必要な様々な法律について研究して参りたいと思っております。よろしくお願い致します。

言語を使用する時の身体と心について考える

情報社会学科　岡久 太郎

2022年9月に着任した岡久太郎です。授業は英語科目と言語・コミュニケーション系の専門科目を担当しています。私の専門は認知言語学という分野で、言語の意味とジェスチャーやイントネーションのような言語以外の情報がどのように関わっているかを研究しています。言語学と聞くと、語源や古い言語の研究をイメージする人もいるかと思いますが、私の研究対象は、私達が普段のコミュニケーションで使用している言葉です。そのため、日常会話はもちろん、インタビュー、実況中継、漫才のような話し言葉、さらに、LINE等のメッセージコミュニケーションや小説のような話し言葉も研究の対象となります。情報学部のみなさんと様々なコミュニケーションについて考えていければと思います。

基礎実験から外国語運用能力の効率的な強化を目指す

情報社会学科　中川 恵理

2022年10月に着任した中川恵理です。主に英語や言語・コミュニケーション系の科目を担当しており、専門は心理言語学・外国語教育学です。心理言語学とは、ヒトが言語を獲得・使用することを可能にする、心理学的あるいは神経生物学的な要素を科学的に明らかにすることを目指した研究領域です。私は、成人の外国語学習者によることばの処理、とくに発話の認知メカニズムに関心があり、心理言語学的な行動実験や機能的MRIなどの脳機能イメージング法を利用した神経科学的な実験を通じて「外国語がどのように処理され、学習が進んでいくのか」を明らかにすることを目指しています。今後は、他者との社会的な相互作用が外国語で話す技能の強化に与える効果について検討していきたいと考えています。

研究紹介

オンラインコミュニケーションで第二言語を学ぶ

情報社会学科　高瀬 奈美

私の研究室では、電子メールやビデオなどのオンラインコミュニケーションツールを利用して第二言語習得が可能かどうか、また、対面学習とどのような違いがあるのかを研究しています。その結果、例えば、テキストチャットを利用すると視覚的な情報を利用できることから言語そのものに注意が向くようになり、対面での会話に比べて語彙の選択が正確になる確率が高まることが分かりました。また、テキストチャットを利用しての会話は対面での会話よりもゆっくりですので、相手がネイティブの人だと緊張してしまうような人も無理なく会話に参加することができます。

一方、テキストチャットだけで第二言語を習得できるかといえば、まだ少し無理があります。例えば、対面学習に比べて流ちょう性が向上しにくい面があるからです。そこで、対面での教授法で明らかになっている知見も利用して、その有効性を高める工夫が必要になります。この点については、オンラインと対面での学習を比較する研究を続けた結果、練習の使い分けが提案できるようになっています。

今後は、仮想空間における練習が第二言語習得にどのような効果をもたらすのかを明らかにしていくつもりです。

VR内で言語活動を試行する様子
（交換留学生モーさんとゼミ生でネブラスカ大学オマハ校（アメリカ）を訪問）

退職職員

カルチャー・ショック

情報社会学科　杉山 茂

1996年冬にUC, Santa Barbaraで現代アメリカ史分野の博士号を取って、月数万円の生活費で研究浪人をしていた。始まりは赴任の一週間ほど前、入る手はずとなっていた研究室が変更となったことだろう。即座に書籍や史料を収めて仕事が始められるはずだったのだが、割り当てられたのは高価な輸入ソファなどのがらんどうで、書架などは研究費で購入し、それまで書籍・資料の搬入はできないというものだった。赴任の日、全くの他分野の人に「本を読むな、研究するな」と命令口調で言われた。

赴任後は、研究室に来て「史料なんか捨てろ」、科研をとれば「海外で遊ぶ金がそんなに欲しいのか」「会議があるから史料調査の出張を取りやめて帰国しろ」、「静岡⇔浜松の新幹線利用は贅沢だ」「教員は暇だから事務を手伝え」ということもあった。

ほかにも20数年前のUCと日本との図書館への態度などの違いなど諸々あった。それは過去のことなのだが、毎朝のようにフラッシュバックのように襲う。しかし、見渡せば現在の情報学部は、若手の研究者が研究・教育するのを前提に、それに専念できるように全力を尽くしている。わずかな時間だったが、離任する私にも知的関心の拡張をもたらしてくれた。このような「おしゃべり」は、これから研究に携わる学生・研究者に多くの果実をもたらすとおもう。最後に、遺す空間を占領しない資料が研究・教育のインフラに役立てば幸甚です。

新たな勉強とチャレンジに満ち溢れた９年間

情報科学科　西村 雅史

大学院修了後約 30 年間、外資系企業の研究所で、ただひたすら与えられた一つの分野の研究に取り組んでおりましたが、大学の方々が自由に研究をされている姿には正直ずっと憧れがありました。2014 年に情報学部で働く機会を与えていただき、わずか９年間でしたがその願いを叶えることができたこと、大変感謝しております。ただ、企業から大学に来ると、それまで培ってきた研究資産は一切持ち出せず、ほぼ完全に 0 からの再スタートとなります。また、講義準備や大学運営に関する勉強に加え、研究費の獲得など、新たにチャレンジしないといけないことが山積みで心底大変でしたが、多くの方々に助けていただき、なんとかここまでやって来ることが出来ました。本当にありがとうございました。情報学部の今後のますますのご発展を祈念しております。

大学生活の思い出

University Memories

大学生活で大切に感じたこと

情報科学科４年　竹内 麻衣

大学生活を通して大切だなと実感したのは「人との繋がり」です。私の代は2年生の頃からコロナ禍の影響で在宅授業が始まり孤独を感じることが多くありました。大学の専門的な講義では家で孤独に考えていてもなかなか理解が難しかったり分からなかったりすることが多くあり、友人と議論をして理解を深めたり教授に質問したりして解決した時もありました。もともと一人で抱え込んで悩んでしまいがちな私でしたが、人を頼って相談することの大切さを感じました。3年次から始まった実験ではグループワーク形式で講義が行われたため、コロナ禍でも男女問わず様々な人と関われたのは本当に良い経験だったなと思います。現在は西村研究室に所属し、生体音情報や機械学習に関連する研究をしています。研究をする中でも、ゼミのメンバーと話をすることで気づくことや今まで悩んでいた問題が解決することはよくあります。これから大変なことも沢山あると思いますが、大学院進学後も人との繋がりを大切に自分自身成長していけたら良いなと思っています。

情報学と睡眠から健康へ

総合科学技術研究科情報学専攻修士１年　村田 大河

「健康・医療と情報学が融合することによって新たな予防・治療の方法が開発され、より人々が健康になれるのではないか。医者ではないけど、医療に関わることで社会に貢献したい。」これが私が高校生のときに考えていたことです。入学当初、健康情報学の研究室がありませんでしたが、私が学部3年生のときに運良く今の金鎭赫研究室が設立され、迷うことなくこの研究室を選びました。研究室に配属されてすぐに睡眠と気分の関連について明らかにする研究を始め、情報学の視点から人々の健康を観察し改善することのわくわくを感じました。研究成果は学内シンポジウムを始め、国際学会でも発表を行い、他の研究者との議論がとても刺激になりました。大学の講義では触ったことのない解析ソフトやより複雑な処理を自力で行ったことは、今では自身の大きな自信につながっています。大学に入る前には想像もできなかったことをとてもたくさん経験でき、興味の幅と視野を広げることができました。

2022年度　情報学部・総合科学技術研究科情報学専攻の就職・進学状況

Career choices of new graduates

情報学部キャリア支援室　椿 志保里

2022年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持しています。2023年1月27日現在、表のように学部では3学科平均で99.4%、研究科では97.0%の内定率となっています。引き続き、全員が希望の進路に進めるように支援しています。

学科・研究科		卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学者数	内定率	進学率
情報学部	情報科学科	101	49	49	49	100.0%	48.5%
	情報社会学科	70	60	59	8	98.3%	11.4%
	行動情報学科	73	49	49	19	100.0%	26.0%
	計	244	158	157	76	99.4%	31.0%
総合科学技術研究科情報学専攻		74	67	65	1	97.0%	1.4%

2020～2022 年度学部・研究科卒業生の主な就職先

情報科学科	情報社会学科	行動情報学科	総合科学技術研究科情報学専攻
伊藤忠テクノソリューションズ	ジェイアール東海情報システム	伊藤忠テクノソリューションズ	アマゾンウェブサービスジャパン
NEC ソリューションイノベータ	トヨタシステムズ	Sky	NTT ドコモ
NTT フィールドテクノ	農中情報システムズ	ディー・エヌ・エー	KDDI
NTT ドコモ	三菱電機ソフトウエア	デンソーテクノ	ソニーインタラクティブエンタテイメント
キヤノン IT ソリューションズ	ヤマハモーターソリューション	電通国際情報サービス	電通国際情報サービス
ソフトバンク	アイエイアイ	トヨタシステムズ	LINE
TIS	スズキ	日本ヒューレット・パッカード	楽天
トヨタシステムズ	プライムアース EV エナジー	日立システムズ	リクルート
ビズリーチ	遠州鉄道	丸紅ITソリューションズ	京セラ
日立システムズ	コナミアミューズメント	ヤフー	シャープ
富士ソフト	中部電力パワーグリッド	セイコーエプソン	デンソー
ヤフー	TOKAI ホールディングス	トヨタ自動車	東芝キヤリア
楽天	日本総合研究所	日本電気	凸版印刷
NEC プラットフォームズ	NEXCO システムズ	マキタ	日立製作所
SUBARU	北日本放送	村田製作所	パナソニック
日本電気	毎日新聞社	鈴与	富士通
富士通	東京海上日動火災保険	ヤマハコーポレートサービス	三菱電機
三菱電機	三井トラスト・アセットマネジメント	静岡新聞社静岡放送	ヤマハ
ヤマハ発動機	静岡県庁	静岡銀行	ヤマハ発動機
メイテック	豊橋市役所	日本生命保険	野村総合研究所
中日新聞社	焼津市役所	浜松磐田信用金庫	朝日新聞社
静岡市役所	内田洋行	浜松市役所	ファーストリテイリング

ソフトウェア・通信、メーカー、サービス・インフラ、マスコミ、金融、官公庁など幅広い分野に就職しています。それぞれの学科のカリキュラムで育んだ知識や経験を活かし、就職活動での強みとしています。

情報学部では、3年次でのインターンシップや就職活動ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。コロナ禍を経て、オンラインで採用活動を行う企業が増えてきております。学生が活動を行う際に活用しやすいように、なるべくオンラインで情報を閲覧できるようにしております。また、採用関連の企業情報や、卒業生の就職活動体験情報を、就職資料室(i-job)で提供しています。

就職資料室(i-job)の様子

学生の表彰

学長表彰
成績優秀者
加瀬川 智皓

学部長表彰
成績優秀者
飯田 悠太
業績
國井 里帆, 曽我 悠加, 佐藤 弘毅

専攻長表彰
成績優秀者
上山 彩夏
業績
酒井 翔伎, 安藤 瑠称

学位記受領代表
情報学部
近藤 滉平

謝辞
村松 俊平

浜松工業会学習奨励賞
情報科学科
鈴木 伶哉, 細田 奈央
行動情報学科
村松 俊平
情報社会学科
近藤 滉平

2023 年度　行事予定表（2月末時点）

2023年

4月4日　入学式(静岡グランシップ)・保護者懇談会
4月5日　ガイダンス(～ 4月10日)
4月12日　前期授業開始
5月18日　全学一斉地震防災訓練
7月25日　前期試験期間(～ 7月31日)
7月27日　TOEIC試験
8月上旬　夏季オープンキャンパス(予定)
9月12日　秋季学位記授与式(浜松)
9月16日　集中講義(～ 9月30日)
10月2日　後期授業開始
10月6日　秋季入学式(浜松)
11月11･12日　静大祭･テクノフェスタ(浜松)
11月11日　保護者懇談会･個別面談
12月23日　集中講義(～ 12月27日)
12月28日　冬季休業(～ 1月3日)

2024年

1月9日　対面授業再開
(1月4 ～ 5日は対面授業等なし)
1月30日　後期試験期間(～ 2月5日)
3月21日　学位記授与式(浜松)

お問い合わせ
〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL:053-478-1510・1511　FAX:053-471-0249
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.30 April2023

情報学部のウェブページをご覧ください。
情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。
https://www.inf.shizuoka.ac.jp